

国指定史跡

# 国富中村古墳

くにどみなかむらこふん

所在地：出雲市国富町



発掘後の石室内部

島根県出雲市

## 古墳の位置

国富中村古墳は出雲市の北東、国富町(旧平田市)に所在する円墳です。古墳は二つの丘陵に挟まれた谷の出口に位置しています。すぐ東には丹堀川が北東に向かって流れているので、川の影響を受けやすい場所に築造されています。

周辺には、中村2号墳(箱式石棺)、山辺神社古墳(長辺が約27mの長方形墳)や国史跡の上島古墳(直径22mの円墳)をはじめ、数多くの古墳や横穴墓が築造されています。出雲市の中でもこの地塊は古墳時代の遺跡が特に密集している地域です。

## 発掘調査

国富中村古墳は2002年(平成14)5月2日、工事中に石室の天井石が一部壊れたことにより、発見されました。その後、出雲市教育委員会が2010年(平成22)までの約8年間にわたり、墳丘と石室内の発掘調査を断続的に行ってきました。石室内には大量の土砂が堆積していたので、それをスプーンや竹串で少しずつ取り除きながら、調査を進めました。

## 墳丘

墳丘は直径約30m、高さ4.5m以上あり、盛り土によって築かれています。墳丘斜面の蓋石はありません。周りには断面がV字状の溝がめぐっています。ただし、墳丘は丹堀川の土石流などによって破壊されており、直径約10mの高まりが残る程度です。



現況写真(プレハブの下に石室がある)

周辺の地形測量図

## 横穴式石室

埋葬施設は、入口が横にある横穴式石室で、遺体を埋葬する2つの部屋(玄室と前室)があります。石室全長は9.3m以上、高さは玄室が約2m、前室が約1.8mあります。石材は近くで産出される砂岩で、割石および切石に加工されています。

石室の入口は多数の自然石により完全に閉じられていて、未盗掘墳であることがわかります。

玄室には横口の開いた組合せ式の家形石棺(凝灰岩製)、前室には蓋石と奥石のない石棺(砂岩製)があり、2人が埋葬されたと考えられます。玄室の家形石棺内部は未調査で、約1,400年前の状況が保たれています。石棺の蓋石には、人の手で叩き割った痕跡(確実なのは1ヶ所)があり、故意に壊されていたことがわかりました。

国富中村古墳は、閉塞石が埋葬当時の状況を完全に残しており、日本で最も保存状態が良好な横穴式石室をもった古墳といえます。

## 規模からみた国富中村古墳

墳丘と玄室の大きさは、出雲で中型規模になります。墳丘規模と玄室規模が埋葬された人の当時の地位を表すならば、出雲市上塙治築山古墳(直径47mの円墳)のような最上位ではないが、それに次ぐ地位であったと考えられます。



石室発見直後(玄室から前室を見る)

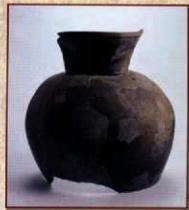


古墳のイメージ図

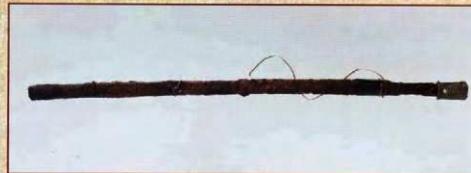


石室調査状況(壊れた天井の穴から)

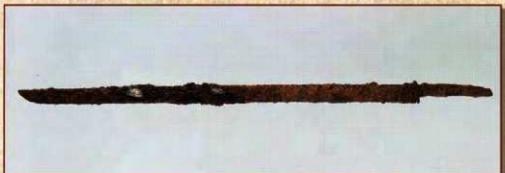
# 未盗掘 古墳の世界



須恵器(錐)



圭頭大刀



倭装大刀



珠文鏡



須恵器(子持壺)



馬具(素環巻)



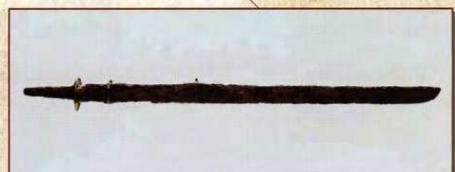
馬具(ハート形鏡板付轡)



馬具(雲珠)



馬具(花形杏葉)



馬具(楕円形杏葉)



金銅鈴



金環(イヤリング)

## 調査状況

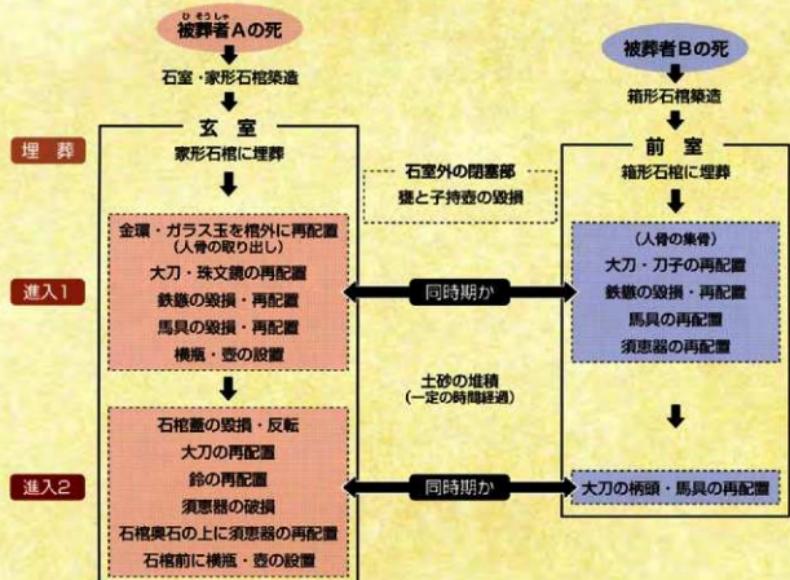


### 副葬品

石室内からは副葬品として、珠文鏡1面、金環1点、銀環1点、ガラス勾玉1点、ガラス小玉2点、金銅製鈴4点、装飾大刀3振、刀子3点、鉄鏺3組、馬具3組、須恵器61点(うち3点は現地に保存)が出土しています。石室外の閉塞部からも須恵器の壺や出雲型子持壺が出土しました。これら古墳に伴う出土品はおよそ250点です。副葬品の時期は、6世紀末～7世紀初頭で、古墳の築造もこの頃と考えています。これらの副葬品の出土状況をみると、壊されて(毀損)、散らばった(再配置)状態で出土しました。つまり、埋葬当初の状態ではないと考えられます。



# 国富中村古墳の葬送過程



## 葬送過程

国富中村古墳は未盗掘墳で、慎重な発掘調査によって葬送過程がわかりました。まず、玄室および前室のそれぞれの石棺に死者を埋葬します。その後(10年程度)、2回にわたって石室に進入し、棺や副葬品などを廻し(毀損)、散乱(再配置)させています。このような行為は、死者がよみがえって、たたりをおこさないようにするために、あるいは、代わりの儀礼だったのでしょうか。この行為は「再生阻止儀礼」と呼ばれていて、当時の出雲の人々が死に対する抱いていた考えがよくわかる事例です。

## 古墳の特色

国富中村古墳は、古墳時代後期(6世紀末～7世紀初頭)の直径約30mの円墳です。日本の横穴式石室の中で最も保存状態が良好な石室です。また、葬送過程から、埋葬終了後に「再生阻止儀礼」が行われていたことがわかったことは特に重要な特色です。

### 位置図



\*出土遺物と石室模型は出雲弥生の森博物館に展示しています。

2013年(平成25)3月 発行

編集・発行 出雲市

TEL: 0853-21-6893

印刷 島根印刷株式会社